



All Activities for Cancer Patients
職員の全ての活動はがん患者のために！
独立行政法人**国立がん研究センター**

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511 FAX 03-3542-3815

**National
Cancer
Center**

放射線被曝についての公開討論会 第1報
「安全に暮らすためのエビデンスと対策」

平成23年6月22日（水曜日） 15時～17時
国立がん研究センター 管理棟1階 特別会議室

新聞やテレビなど様々なメディアにおいて、現在の放射線の影響に関して、「安全という立場」と「危険という立場」で、異なる立場で意見が述べられており、多くの者がどの意見を信じればよいのかわからず、不安をより一層強める原因の一つとなっています。放射線の影響について正しく理解し、また今後も蓄積される放射線の影響を最小限にするために、これまでに医学的に明らかにされてきた放射線の影響について、エビデンスに基づいた医学的公開討論会の実施する準備を進めます。20年後、30年後のことを予想し、放射線の影響を少なくし住民の方々の健康を守るための提言をまとめます。

プログラム案 0607

1. 住民の声

福島県在住者

2. 被曝の危険性について

甲斐倫明（大分県立看護科学大学・ICRP 委員）

3. 被曝の危険性について

西尾正道（国立病院機構北海道がんセンター病院長）

4. 緊急被ばく医療 について

明石真言（放射線医学総合研究所緊急被ばく医療センター長）

5. 放射線被曝の健康影響

講演者調整中

6. がんの原因とリスクの大きさ

津金昌一郎（国立がん研究センター 予防・検診研究センター 予防研究部）

7. 総合討論と政策提言

嘉山孝正（国立がん研究センター理事長）

記者の方々におかれましては、被曝について住民の方々が感じている不安や、取材を通じて感じた疑問や知りたいことなど、6/16まで企画戦略室成田までメールを送っていただくようお願いいたします。記者の方々も、国民の代表として御意見を願います。 E-mail : yonarita@ncc.go.jp